

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和4年1月18日

公表: 令和4年2月24日

事業所名 れすば〜さくら館

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	3	5	2	0	1日7人~10人の利用 定員になるようにサー ビスを行っています。	
	2	職員の配置数は適切である	7	4	0	0		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化 の配慮が適切になされている	5	5	1	0		設備におけるバリアフリー化が適切になるよ う努めます。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目 標設定と振り返り)に、広く職員が参画して いる	5	5	1	0	職員会議等を毎月 開催しています。 (書面会議も含 む。)	職員会議等にて、多くの職員が参画できる ように内容を工夫していくよう努めます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりア ンケート調査を実施して保護者等の意向等 を把握し、業務改善につなげている	8	1	0	2		情報の共有を図り、研修として評価表を基に 業務改善を行っています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	7	1	1	2	法人HPに自己評 価結果を公開して います。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている	3	4	1	3		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保している	11	0	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護 者のニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	6	2	3	0	日々変化のある児童を支援しな がら、根本となる課題や希望を 見つめられるよう考え計画とで きるよう努めている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するた めに、標準化されたアセスメントツールを使用 している	7	1	1	2		
	11	活動プログラムの立案をチームで行って いる	5	3	0	3	毎月の取り組みや、イベントの 案を各々のスタッフから聞き取 り、形になるよう考案している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫し ている	8	1	0	2	児童に確認し、プログラムを 随々に合わせマンネリ化しない よう工夫している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	5	3	0	3	来所時には1日のプロ グラムの確認と児童か らやりたい事や、やっ てみたい事を聞き、ひとり 一つは主役になれる瞬 間が持てるような取り 組みや支援を心がけてい ます。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活 動を適宜組み合わせる放課後等デイサー ビス計画を作成している	8	1	0	2		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われる支援の内容や役割分担に ついて確認している	5	5	0	1	プログラム確認や改 善、各々の児童での申 し送りや支援方法をそ の都度確認していま す。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有している	3	6	0	2	勤務の時間がある為、支援後 に振り返り時間を毎回取る事は難 しいが、記録に残してもらって いる。またサービス終了後に気 になる事や、感じた事を常勤職員 へと可能な限り話をもらうよ う継続していきます。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	4	0	0		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等 デイサービス計画の見直しの必要性を判断し ている	9	0	0	0	相談支援事業所さんや、必要に 応じ他の事業所さんと担当者会 議を開かせて頂き、見直しや確 認をおこなっています。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み 合わせて支援を行っている	7	2	0	2	コロナ禍での活動 を基本的に思案し ている。		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	4	0	2	基本的に児発管が参加して、内容によっては児重指導員も出席しています	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6	2	0	3	地域の字校や担任の先生、ご家族の方々にお世話になりながら調整させていただいております	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている						
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6	1	0	4		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している					該当児童なし。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	7	0	3		コロナ禍対応をしながら、今後利用できるようにしていきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	3	6	2	公園に遊びに行く際に、短い時間の交流はあるが、コロナ禍により長時間の交流等が難しい。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0	4	2	5		春育フェアの参加を今後検討していきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9	0	0	2	できるだけ情報共有をおこなっているが、不十分な所もあるので、今後も努力していきます。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	5	1	4	必要に応じておこなっています。けやき福祉会の相談支援を契約している児童に関しては相談委員さんをお話しをさせていただく場合もあります。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	1	0	3	おこなっています。その都度必要に応じて、お便りでお伝えする場合があります。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	0	0	3	できる限りおこなっていますが、不十分な所もあるので、今後も努力していきます。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している						
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7	1	0	3	職員と情報の共有を図り、文章に落とし、保管しています。また、改善方法を検討し、お伝えします。日々の支援で、スタッフに報告をおこない支援に繋がっています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	2	0	2	先月分の創作等を紹介することを行っています。	
	35	個人情報に十分注意している	9	1	0	1		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	1	0	2		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	6	3	1	当事業所は、大雨等の水害時等で浸水した場合、近くの住民の方が避難できるよう地下を高くして建築してあります。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8	2	0	1		職員には研修を通して、保護者にはお手紙等にて、周知していけるよう努力します。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	11	0	0	0	年に2回避難訓練を計画して実施しています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	10	1	0	0	年に1度必ず研修を行っています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している					該当児童なし。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8	1	0	2	フェイスシートで記入保管し、食べ物の提供の際は確認をおこなない、購入時点で対応しています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	11	0	0	0	ヒヤリハットと対応策をスタッフと共有しておこなっています	